

平成30年度山形大学人文学部
第3年次編入学 学生募集要項

平成29年7月

山形大学人文学部

目 次

1	趣 旨	1
2	募集人員	1
3	出願資格	1
4	出願手続	1
5	選抜方法	3
6	受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談	4
7	合格者発表	4
8	欠員の補充方法	4
9	入学手続	4
10	授 業 料	4
11	注意事項	5
12	募集要項の請求方法	5
13	アドミッション・ポリシー	6
14	各学科の主な授業内容	7
15	編入学説明会	10
16	そ の 他	10
17	試験成績の開示	10

出願書類その他

- ◎山形大学人文学部第3年次編入学願書・写真票・受験票
- ◎在学期間証明書
- ◎編入学志望理由書【人間文化学科用】
- ◎編入学志望理由書【法経政策学科用】
- ◎払込書【第3年次編入学試験（人文学部）用】
- ◎ラベル票
- ◎出願書類提出用封筒

平成30年度山形大学人文学部 第3年次編入学 学生募集要項

1 趣 旨

山形大学人文学部は、大学における学習の機会を拡大し、これまでに何らかの学問分野で専門教育を受けた者等に対して勉学の機会を提供するため、第3年次編入学を実施しています。学科ごとのアドミッション・ポリシーは6～7ページに記載のとおりです。

2 募集人員

学 部	学 科	募集人員
人 文 学 部	人 間 文 化 学 科	20人
	法 経 政 策 学 科	

3 出願資格

以下のいずれかに該当する者又は平成30年3月31日までに該当する見込みの者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者
- (3) 他の大学に2年間以上在学（休学期間を除く。）し、62単位以上の単位を修得した者
- (4) 外国において学校教育における14年以上の課程を修了した者
- (5) 外国の短期大学を卒業した者及び外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）
- (6) 外国の大学において、2年間以上在学（休学期間を除く。）し、62単位以上の単位を修得した者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、かつ、総授業時数が1,700時間以上であるものに限る。）を修了した者（学校教育法第90条に規定する者に限る。）
- (8) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（学校教育法第90条に規定する者に限る。）
- (9) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）附則第7条の3に定める従前の規定による学校の課程を修了又は卒業した者

4 出願手続

- (1) 出願受付期間等

平成29年10月2日(月)から10月5日(木)まで

受付時間は、9時から16時30分までとします。

なお、郵送の場合も、10月5日(木)まで必着とします。

(2) 出願書類の提出先

山形大学人文社会科学部入試担当

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12

☎ (023) 628-4207

(3) 出願書類

入学志願者は、入学願書等出願書類を一括し、本要項に添付の封筒を使用して、郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

① 編入学願書、写真票、受験票、編入学志望理由書

いずれも所定用紙。写真票には出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きの写真（4cm×3cm）をはってください。また、編入学志望理由書は志願する学科のものをういてください。

② 卒業（見込）証明書又は在学期間証明書

卒業（見込）者は卒業（見込）証明書、出願資格(3)に該当する者は本要項に添付の所定の「在学期間証明書」を提出してください。

なお、証明書は出身学校長（学部長）の発行したものとします。

③ 成績証明書

出身学校長（学部長）の発行したもので、厳封されたものとします。

また、出願資格(3)に該当する者は、62単位の修得（見込み）について見込み証明書や履修登録が確認できる書類を提出してください。

④ 資格等を証明する書類

出願資格(7)(8)に該当する者は、修了する（した）課程が文部科学大臣の定める基準を満たすものであることについて出身学校が発行する証明書を提出してください。

⑤ 検定料30,000円（「山形大学入学試験検定料納付証明書」）

a 払込期間：平成29年9月27日（水）から平成29年10月5日（木）まで

b 払込方法

ア 本要項に添付の所定の「払込書」を用いて、最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局から払い込んでください。

なお、ATM（現金自動預払機）は使用できませんので、必ず窓口で払い込んでください。

イ 各票の※欄に、入学志願者（本人）の郵便番号・住所・氏名・電話番号をボールペンで正確に記入してください。

ウ 「払込取扱票」及び「山形大学入学試験検定料納付証明書」に志願する学科名を記入してください。

エ 「振替払込請求書兼受領証」及び「山形大学入学試験検定料納付証明書」をゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取る際には、必ず受付銀行又は局の「日附印」があることを確認してください。

c ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取った「山形大学入学試験検定料納付証明書」を提出してください。

d 既に払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

ア 検定料を払い込んだが出願しなかった場合（出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含みます。）

イ 誤って検定料を二重に払い込んだ場合

e 返還についてのお問い合わせは、山形大学人文社会科学部入試担当にお願いします。なお、申出期限は平成30年3月30日(金)までとします。

⑥ 返信用封筒

長形3号封筒(23.5cm×12cm)に、本人の郵便番号・住所・氏名を明記の上、82円分の切手をはったもの。

⑦ ラベル票

本要項に添付の所定の「ラベル票」に合格通知及び入学手続書類を確実に受け取ることのできる郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記して提出してください。

(注) 外国の学校又は外国の機関において作成する書類が日本語以外の場合には、日本語訳文を添付してください。

5 選抜方法

入学者の選抜は、人間文化学科については、外国語、小論文、面接、出願書類の結果を総合して行い、法経政策学科については、小論文、面接、出願書類の結果を総合して行います。

(1) 学力検査等日程

① 人間文化学科

期 日	11 月 4 日 (土)		
時 間	9時00分～10時00分	10時30分～12時30分	13時30分～
科 目	外国語(英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語から1つを選択してください。) (配点50点)	小 論 文 (配点100点)	面 接 (配点50点)

※外国語は、出願時に選択したものを解答してください。

※小論文では読解力、思考力、記述力をみます。

※面接時間は1人10分程度とし、本学科での修学に必要な基礎学力をみます。

面接時間は当日お知らせしますが、出願者数等の状況によって終了時刻が18時頃になる場合があります。

② 法経政策学科

期 日	11 月 4 日 (土)	
時 間	10時00分～11時30分	13時30分～
科 目	小 論 文 (配点50点)	面 接 (配点50点)

※小論文では読解力、思考力、記述力をみます。

※面接時間は1人15分程度です。面接においては、社会的関心と本学科での修学に必要な基礎的知識等をみます。

面接時間は当日お知らせしますが、出願者数等の状況によって終了時刻が18時頃になる場合があります。

(2) 学力検査等会場 山形大学人文社会科学部(山形市小白川町一丁目4-12)

6 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談

病気・負傷や障害等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、あらかじめ人文社会科学部入試担当に相談してください。

7 合格者発表

平成29年12月4日(月) 10時(予定)

合格者の発表は受験番号のみとし、人文社会科学部掲示板に掲示します。

また、山形大学のホームページ (<http://www.yamagata-u.ac.jp/goukaku/top.html>) に合格者の受験番号を掲載します。(発表直後はアクセスが集中し、つながりにくい場合がありますので、その際は、しばらく時間をおいて再度アクセスしてください。)

なお、合格者には同日付けで合格通知書を送ります。

合格者の発表に関し、電話等による合否結果の問い合わせには一切応じられませんので、注意してください。

8 欠員の補充方法

入学手続完了者数が入学定員に満たない場合は、「追加合格」を行う場合があります。

また、「追加合格」を実施しても、なお入学定員に満たない場合には、第2次募集を行う場合があります。

9 入学手続

(1) 入学手続期間

平成29年12月12日(火)から12月15日(金)まで(郵送の場合も12月15日(金)まで必着とします。)

受付時間は、9時から16時30分までとします。

(2) 入 学 料

入学手続の際に、入学料282,000円を納付していただきます。

(3) 提出書類

入学誓書、写真等

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

10 授 業 料

授業料については、入学後に納付していただきます。

年 額 535,800円(予定額)

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」及び「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

(注) (1) 上記の金額は、未確定のため予定額です。



(2) 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。


(3) 納付方法等詳細については、合格通知の際に通知します。



11 注意事項

- (1) 出願手続等に不明な点がある場合は、人文社会科学部入試担当に照会してください。
- (2) 出願手続後の願書記載事項の変更は認めません。
- (3) 出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学決定後であっても、入学を取り消すことがあります。
- (4) 平成30年3月までに所定の出願要件を満たす見込みで受験した合格者が、所定の出願要件を満たすことができなかった場合は、入学を取り消します。
- (5) 本学は、入学試験に関する個人情報は次の目的のために利用し、当該情報を第三者に開示、提供及び預託することはありません。
 - ① 入学者選抜試験実施のため
 - ② 入学手続業務のため
 - ③ 入試統計調査のため
 - ④ 就学上必要な本学での業務のため
 - ⑤ その他大学として必要な業務のため

12 募集要項の請求方法

大学案内及び募集要項等については、山形大学のホームページ等から請求することができます。なお、テレメールから請求される場合は、テレメールが定める個人情報の取り扱いについてご確認くださいませようお願いします。

- (1) 山形大学ホームページからの請求
本学ホームページ (<http://www.yamagata-u.ac.jp/jp/>) 「入試案内」又は「受験生の方」の「資料請求」から、直接テレメールによる請求ができます。
- (2) インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）又は自動音声応答電話で請求する場合
 - ① インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）又は電話をご利用ください。

	パソコン・スマートフォン・携帯電話	自動音声応答電話
	https://telemail.jp ※スマートフォン・携帯電話でバーコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要。 	IP電話※ (050)8601-0101 (24時間受付)

※IP電話：一般回線からの通話料金は、日本全国どこからでも3分ごとに約12円です。

- ② 資料請求番号（6桁）を入力してください。

資 料 名	資料番号	料金(送料含)
人文学部第3年次編入学学生募集要項	541092	215円

- ③ あとはガイダンスに従って登録してください。
 - ・ 発送開始日以降に請求された資料は請求してからおおむね1～2日後に届きます。
 - ・ 料金はお届けする資料に同封されている支払方法に従い、表示料金をお支払いください。
 - ・ 自動音声応答電話によるご請求の場合、住所・名前の録音時は、ゆっくりはつきりとお話してください。録音された音声の不鮮明な場合は、電話で住所・名前を確認することがありますので、電話番号は必ずご登録ください。

・請求時期によっては資料がなくなり、早期終了する場合がありますので予めご了承ください。

(1)(2)の請求方法についてのお問い合わせは

テレメールカスタマーセンター **IP電話** 050-8601-0102(9:30~18:00)まで

※テレメールカスタマーセンターは、株式会社フロムページが管理運営しています。

(3) 直接来学する場合

人文社会科学部入試担当の窓口で配付します。

ただし、土・日曜日、祝日を除きます。

なお、配付時間は、9時から17時までとします。

13 アドミッション・ポリシー

(1) 人間文化学科

■概要・特色

人間文化学科には、心理学、言語学、情報学などのサイエンスから文学、芸術学、哲学、文化論、歴史学など古今東西の文献や資料に基づく学問、さらには、文化人類学、社会学、地理学などのフィールド研究から、グローバルな視点に立ち、欧米や東アジアを考察する文化研究まで、多彩な分野の専門教員が配置され、人文科学に関して、学生のあらゆる関心に応えられる態勢となっています。教育コースは、地域・人間（地理学・社会学・心理学・人間情報科学）コース、言語（言語学・日本語学・英語学）コース、文化動態論（歴史学・文化人類学）コース、文化解釈学（文学・芸術・表象・哲学）コース、グローバル文化学（比較文化論・欧米文化論・アジア文化論）コースの5つが用意されており、少人数の演習、実験、実習により、また、4年次の卒論研究を通じて、創造的で感性豊かな高度教養人を養成しています。

■求める学生像

- 人間の多様な文化的活動に強い関心を持ち、勉学への意欲を持っている人
- 国語、外国語、地理歴史、公民、数学、理科等について、高等学校卒業水準の基礎的学力を身につけている人
- 自分の考えを明快に整理し、表現することのできる人
- 自立した市民にふさわしい創造性と批判的なものの見方を身につけたい人

(2) 法経政策学科

■概要・特色

法経政策学科は、法律学、政治学、経済学、経営学など社会科学全般にわたる教育研究を行います。学生は、1年次に学科共通の基礎的な教育を受けた上で、2年次より「法律」、「経済・経営」、「公共政策」の3つの教育コースのいずれかを選択して、各コースの多彩な講義を受講します。3年次からそれぞれの関心で選んだ少人数の演習に参加して、発表や議論を通じて専門知識を深めます。このような学習により、現代社会が抱える様々な諸課題に対して柔軟に対応できる能力を修得することができます。

■求める学生像

- 現代社会で生じている問題に強い関心を持ち、それらの分析や解決に取り組む意欲のある人
- 法律、政治、経済、経営など社会科学に関する分野に興味がある人
- 高等学校で学ぶ国語、外国語、地理歴史、公民、数学、理科等について、基礎的な知識や考え方を身につけている人
- 物事を論理的に考えることや自分の意見をわかりやすく伝えることのできる力を備えている人
- 法経政策学科で学んだ知識や考え方をいかしながら、市民社会の一員として社会に貢献したいと考えている人

14 各学科の主な授業内容

(1) 人間文化学科

1 人間文化学科には5つの「教育コース」があり、入学手続き時に提出するコースの希望届に基づき、入学後の所属を決定します。

2 コースの特色、教育目標及び各コースで取り扱う学問領域は以下の通りです。

① 地域・人間（地理学・社会学・心理学・人間情報科学）コース

特 色：地域、社会、人間の間が生じる問題について、科学的な手法での解明を目指す。

教育目標：地域、社会、人間を取り巻くさまざまな問題に関する幅広い関心・理解をふまえ、独自の問題意識を抱くことができる。また、その解決のために、調査、実験、観察を立案・実施し、得られたデータを適切に分析することができる。

学問領域：地理学、社会学、心理学、人間情報科学

② 言語（言語学・日本語学・英語学）コース

特 色：人間の情報伝達や思考の手段である言語について考える。言語というもののとらえ方を学び、さまざまな手段を用いた言語の分析方法を身につける。人間の思考や心理と言語との関わりや、人間の文化・歴史・社会と言語とのつながりについて考察する。

教育目標：日本語や英語をもとに言語のしくみについて理解し、社会生活に生かすことができる。文献調査やコンピュータを用いたデータ収集・分析、またフィールドワークを通じて、言語に対して多様なアプローチができる。これらの言語に関する知識や分析方法を生かすことで、現代社会を生き抜くことができる。

学問領域：言語学、日本語学、英語学

③ 文化動態論（歴史学・文化人類学）コース

特 色：歴史資料の読解やフィールド調査によって、人類が築いてきた社会・文化を通時的・共時的に分析する。

教育目標：日本や世界の歴史・文化について過去の研究成果を体系的に理解している。歴史文献の読解やフィールド調査の方法論を熟知している。現代世界の諸事象について、通時的な視点と共時的な視点両方の視点からその背景を考察する姿勢が身についている。

学問領域：日本史，東洋史，西洋史，文化人類学，考古学

④ 文化解釈学（文学・芸術・表象・哲学）コース

特 色：文学作品や芸術作品，哲学から映画や現代アニメまで，言葉や視覚イメージを通じて表現された人間の多様な思考や感じ方について考察する。

教育目標：文章や視覚資料と真摯に向き合うとともに，それらを適切な歴史的・社会的背景のもとで読み解き，明快に論評することができる。文章や視覚資料を，自分自身や世界についての思索の糧とし，その成果を社会生活の中で生かしていこうとする姿勢を身に付けることができる。

学問領域：文学（日本文学・中国文学・欧米文学），芸術文化論，表象文化論，哲学

⑤ グローバル文化学（比較文化論・欧米文化論・アジア文化論）コース

特 色：学問領域を横断して，欧米や東アジア地域の言語・文化・歴史・社会を包括的に考察し，現代の世界を主体的に考えていくための知識と方法を学ぶ。

教育目標：日本語以外の言語を1つ以上読解・運用できる。現代の欧米・東アジア社会の基盤である文化や歴史に対する知識と理解を深める。国際比較やグローバルな観点から，世界と日本を考えるための見識を得る。

学問領域：比較文化論，欧米文化論，アジア文化論

(2) 法経政策学科

以下の3つの教育コースが設けられています。

① 法律コース

本コースは，法律学を体系的に履修する教育コースで，法律学の専門知識を必要とする職種・諸分野において力量を発揮できる人材の養成を目指しています。実定法解釈学（実際の問題への適用を前提として，制定法や慣習法などの実定法の意味を学ぶとともに，法的価値判断を正当化・体系化するための解釈を学びます。）に加え，法の基礎理論や政治理論を踏まえたリーガル・マインド（法的にものを考える能力）を養い，関連する経済学・経営学なども学生の関心に応じて履修することにより，今日の複雑化・多様化した法律問題に実践的に対応できる高度な判断力・問題解決能力を育てることを目標としています。

② 経済・経営コース

本コースは，急速に進む経済のグローバル化や情報化，あるいは環境問題といった現代社会の諸変化や諸課題に対し，経済学と経営学の知識に基づいて柔軟に対処しうる人材の養成を目指しています。本コースでは経済や企業経営のしくみ，経済政策，それらの歴史的展開と現状などについて学習します。また，各自の関心に合わせて，法学・政治学の科目なども学ぶことができます。こうした学習を通じて現代社会が直面する経済的・経営的・政策的諸問題に対して，複数の解決策を比較検討する能力，問題解決の方向を提示する洞察力及び政策立案能力を育てることを目標としています。

③ 公共政策コース

公共政策とは、社会の抱える問題に対して、社会としてどのように取り組み、解決していくかを考察する学問領域です。法学、政治学、経済学及び経営学の基幹科目をバランス良く学ぶことによって、社会科学の幅広い基礎的知識を身につけます。そのうえで発展科目を履修し、問題の所在や解決方法を検討するために必要な専門的知識を身につけます。3年次以降は、自分の関心のある分野の演習に所属し、論理的な思考力やコミュニケーション能力と同時に、公共的な視点から社会の様々な課題を見出す能力を養います。さらに、地域づくり・地域活動に参加する演習及び地域社会・地域行政の現状と課題を考察する講義を履修することができます。このような学習を通じて、社会や地域の実情を踏まえながら問題解決に取り組み、主体的に社会に貢献できる実践的な能力を養います。

法律コースは法律系の科目を中心に、経済・経営コースは経済・経営系の科目を中心に、公共政策コースは公共政策系の科目と法律系及び経済・経営系の科目を組み合わせ履修します。

① 法律系

公法科目（憲法，行政法など），刑事法科目（刑法，刑事訴訟法など），民法科目（民法，商法，民事訴訟法など），基礎法・発展法科目（国際法，労働法，経済法など）

② 経済・経営系

経済基礎科目（マクロ経済学，ミクロ経済学，経済学史，経済原論，経済史，統計学など），応用経済科目（経済政策論，財政学，社会政策論，金融論，国際経済論，環境経済学など），経営・会計・情報科目（経営学，会計学，経営情報，マーケティングなど）

③ 公共政策系

公共政策基礎科目（政治理論，地域政策論，行政学，日本政治論，国際関係論など），公共政策発展科目（公共政策学，日本外交論，アジア政治論，政治思想史など）

15 編入学説明会

平成29年8月11日(金) 山形大学小白川キャンパスで、編入学説明会を実施します。

詳しくは、人文学部ホームページ (<http://www-h.yamagata-u.ac.jp/>) でご覧いただけます。

16 そ の 他

- (1) 本学部の卒業生には、以下の学士の学位が与えられます。

人間文化学科：学士（文学）

法経政策学科：法律コース …………… 学士（法学）

経済・経営コース …… 学士（経済学）

公共政策コース …………… 学士（政策科学）

なお、所定の単位を修得することによって、中学校教諭一種免許状（国語，社会，英語），高等学校教諭一種免許状（国語，地理歴史，公民，英語）及び学芸員となるための資格を取得することができます。

- (2) 入学した場合、出身大学等で修得した単位のうち、本学の授業科目に相当するものについては、64単位まで本学の単位として認定します。本学の授業科目は山形大学ホームページ「学生生活」「授業について」の「シラバス」でみることができます。最短修業年限は2年ですが、それ以上の修業年限を要する場合があります。

17 試験成績の開示

- (1) 開 示 期 間 平成30年5月1日～6月30日（土・日曜日，祝日を除きます。）
受付時間は、9時から16時30分までです。
- (2) 請 求 者 受験者本人に限ります。（代理人による請求は認めません。）
- (3) 請 求 方 法 人文社会科学部入試担当へ直接又は郵送により請求してください。
請求する際は、「平成30年度山形大学入学者選抜試験成績等開示申込書^(※)」及び本学受験票を提示してください。なお、郵送による場合は、「人文学部第3年次編入学試験成績開示申込み」と朱書した封筒に、返信用封筒（長形3号（23.5cm×12cm）に402円分の切手（簡易書留）をはり、請求者の郵便番号・住所・氏名を記入したもの）も同封してください。
※平成30年度山形大学入学者選抜試験成績等開示申込書については、山形大学ホームページの「入試案内」から直接ダウンロードしてください。ダウンロードについては、平成30年4月中旬以降可能です。
- (4) 開 示 方 法 受付窓口において又は郵送により開示します。
請求のあった日の翌日以降に開示又は郵送します。
- (5) 問 い 合 わ せ 先 人文社会科学部入試担当 TEL (023) 628-4207